

ARTS for HOPE

宮城チーム活動報告書 2013年11月13日

グリーンタウン矢本

応急仮設住宅ひまわり集会所

参加者のみなさんは、準備も万端に開始時刻よりも早く次々と集まってくれます。

なかからは、「どういつのつくろうか昨日から考えていたんだ」という、うれしい声も聞こえてきます。その言葉どおり、材料を広げると、次々と必要なものを手際よく揃えてゆくみなさん。強者は、テーブルの上にミシンをセッティングしてのスタンバイです。布地のプリントを活かして、両面に動物の顔がある作品をつくった方。布地イチゴのペンダントトップも出来上がります。時間をたっぷりとかけ、部品ひとつずつ仕上げたエプロンドレスのお人形も並びます。

日頃はグルーガンや両面テープ、ボンドなどのみを駆使して作品づくりに挑んでいる方が、なんとこの日は一貫して、針に糸を通しての地道な作業でサンタクロースの人形をチクチク。その、いつもとは違う手仕事姿に、まわりからは思わず笑っちゃうヤジも飛んできます。

小さな息子のために、うさぎちゃんのような布人形を丁寧に時間をかけつくっていたお母さん。でも、息子が気に入ったのは結局、その人形が仕上がった後、モコモコの手触り抜群の生地で作ったなんだかよくわからない物体。息子は、姿よりも、その手触りで「こっちが好き！」を選んだのかな。

この他にも、マスコット付きのお昼寝用の首あて枕、本格的枕、なども続々と出来上がり、この日の「ハッピードール」は終了したのでした。

